

10月27日 諏訪市立中洲小学校 諏訪市立諏訪南中学校 信州風樹文庫（公開）  
「南信地区 学校図書館教育研究会を終えて」

諏訪支部代表 茅野市立金沢小学校 三澤 ゆり

1 研究テーマ 「自ら学び、考え、豊かな心を育てる図書館教育の在り方」  
～ 本・人・ふるさとと 子どもをつなぐ ～

## 2 公開授業・授業研究会

会場校	授業学年・授業者	単元名	助言者
中洲小学校	6年 西川 朱里 教諭	総合的な学習の時間 「広めよう 風樹文庫プロジェクト」	元豊田小学校長 伊東 秀 先生
諏訪南中学校	3年 濱野まりな教諭	国語「君待つと（和歌）」	東信教育事務所 久保貴史 主任指導主事
アトラクション：中洲小学校6年児童 紙芝居「岩波茂雄物語」「風樹文庫物語」 実演			

## 3 講演

演題 「岩波茂雄の出発 ― 野尻湖暮らしと漱石との縁 ―」

講師 堀井 正子 氏 （文学研究者）

「岩波茂雄の出発 ― 野尻湖暮らしと漱石との縁 ―」と題して、岩波書店創設者の岩波茂雄と、夏目漱石の関わりについてお話しいただいた。明治から大正にかけての新しい文化の草創期にあたり、多くの諏訪出身者がつながりあい、情熱をもって活躍していたこと、岩波茂雄が自分の志した道を、信念を持って進んでいったこと、夏目漱石の後進を育て支えようとする心などから、文字や文学を介して思いが伝わり、引き継がれていくことの尊さや重みを改めて教えていただいた。



4 参加人数 87名

## 5 まとめ

### 【小学校】

図書館教育研究テーマを「子どもたちも教師も地域の宝をもとに主体的に取り組める図書館教育のあり方」とし、全校で諏訪市の宝である「信州風樹文庫」について学んできた。6年生児童は、風樹文庫運営委員の方々と出会い、2つの紙芝居の存在と、その存続を願う委員の方々の思いを知り、自分達はその思いを引き継ごうと上演に向けて原稿を付け加えたり、演出を考えたりして練習を重ねてきた。授業では、途中経過を発表し合い、発表グループの願いを大事にできるよう、チェックポイントに沿ったアドバイスを行った。グループごとに、アドバイスをどう生かすか話し合ったり、アドバイスをした側も、自分達の発表について考え直したりして、上演への意欲を高めていた。授業後には、早速アトラクションとして参加者に向けて紙芝居の一部を上演し、授業の成果を生かすことができた。

また、信州風樹文庫を公開していただき、授業と関連づけて見学を行うことができた。

### 【中学校】

グループごとに百人一首から和歌を選び、歌人や時代背景について図書館の資料を利用してパワーポイントにまとめて発表した。印象に残ったことや魅力を感じたことをメモしながら他のグループの発表を聞き、それぞれが感じ取った魅力について、仲間と意見や考えを出し合い共有した。発表を聞く中で、昔の歌人と現代に生きる自分達の、感情の動きや考えの共通点を感じ取ったり、百人一首への関心をさらに深めたりすることができた。研究会では、インターネットと図書館の利活用について活発な意見交換がなされた。